

平成29年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	自分創りを目指し、望む進路実現を図り、真の感動を味わえる”こころ・技・からだ”が育つ学校 ー①もの創りの”こころ”と”技”を身につけた人づくりを目指す。 ②知・徳・体のバランスのとれた人づくりを目指す。ー
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 個に応じた学力と技術力の向上を推進する。授業態度の確立を図る。授業内容の充実を図る。資格取得等を奨励する。 基本的な生活習慣の確立と向上を推進する。欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装、頭髮指導の徹底を図る。挨拶と正しい言葉遣いの励行を図る。 個々の生徒に応じた進路指導を充実する。生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	8	名
	生徒	3	名
	事務局(教職員)	11	名

学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度
1	<p>・近年、成績優良者は横ばいの状態であるが、欠点数と成績不振者は前年に比べ30%増加した。減少させる為知的好奇心を喚起させる授業を展開する。更に、成績優良者を増加させる為の対策が必要である。</p> <p>・学科の枠に縛られず、全校で資格取得にチャレンジできる体制を作る。昨年以上に資格取得表彰者数の増加を目指す、保護者に適切なタイミングで情報提供を行い、効果的に家庭と連携することが課題である。</p>	<p>授業改善・学力向上</p> <p>①基礎学力向上の為の取り組みを実践する。</p> <p>資格取得の奨励</p> <p>②学校全体で資格取得に取り組む体制を確立する。</p>	<p>①基礎学力向上のための取り組みを、各教科、各学科が計画し、実施、検証を行う。</p> <p>①朝、始業前の学習体制を整備する。</p> <p>①生徒が学習に取り組む意欲を喚起し、自らが学習できる環境や場所、時間の提供を行う。</p> <p>②取得可能な資格取得一覧表を作成し、生徒・保護者に配布、周知する。</p> <p>②各学科・教科で取得の為の案内、補習などを実施する。</p>	<p>①欠点数や成績不振者数を前年度より、10%減少したか。</p> <p>①成績優良者数を前年度より、5%以上上昇させたか。</p> <p>①生徒アンケートで『学習に意欲的に取り組んでいる』と回答した生徒を70%以上にできたか。</p> <p>②各資格の受験者および合格者数が10%以上増加したか。</p> <p>②高校生専門資格等取得表彰者数を10%以上増加したか。</p> <p>②生徒アンケートで『生徒・保護者の意見や要望を教育活動に生かしている』と回答した生徒を80%以上にできたか。</p>	<p>①各学年の取組をまとめ、分析し成果を考察する。</p> <p>昨年度同期に比べ</p> <p>1・2学期 1年生成績不振者数53%減少 欠点数65%減少 2年生成績不振者数28%減少 欠点数13%減少 3年生成績不振者数 3%増加 欠点数10%減少</p> <p>大幅な減少となった。</p> <p>②高校生専門資格等取得表彰者数14%増加 ジュニアマイスター表彰者数 74%増加</p> <p>大幅な増加となった。</p>	A
2	<p>・ここ数年、遅刻数の減少を目標に指導を継続し、遅刻数が大幅に減少した。しかし、減少傾向にあった遅刻数は、昨年増加に転じ、年度末には遅刻カードを導入した。今年度はさらに方策を重ね、遅刻数の減少をめざした生徒指導の実施が課題である。</p> <p>・より落ち着いた学校生活を送るために、入学直後から1年生に対して全教職員で連携して綿密な指導を行う必要がある。全教職員が共通理解のもと、組織的に指導できる体制を作ることが課題である。</p>	<p>生徒指導</p> <p>①基本的な生活習慣確立のための遅刻指導・挨拶指導を重点的に継続する。</p> <p>②進路変更、退学者を出さない、問題行動を起こさせない指導を充実させる。</p>	<p>①遅刻指導を年間10週以上実施する。(遅刻カードの活用)</p> <p>①挨拶指導、登下校指導、巡回指導を年間10週以上実施する。</p> <p>①自転車の乗り方講習会を実施する。</p> <p>②整容指導を年間5回以上実施する。</p> <p>②生徒対象のいじめアンケートを実施する。</p> <p>②生徒対象のいじめ・SNS講習会を実施する。</p> <p>②教職員対象の発達障害に対する研修会を実施する。</p>	<p>①遅刻者総数を前年度比10%以上削減できたか。</p> <p>①あいさつ、身だしなみがしっかりしたか。</p> <p>①自転車をはじめとする交通事故が減少したか。</p> <p>①生徒アンケートで『久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる』と回答した生徒を90%以上にできたか。</p> <p>②進路変更、退学者数が前年度比5%以上減少したか。</p> <p>②問題行動(指導件数)が前年度比5%以上減少したか。</p> <p>②生徒アンケートで『久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている』と回答した生徒を90%以上にできたか。</p>	<p>①生徒指導部主体で学年と連携して遅刻防止に取り組んだ結果、2学期末までの遅刻総数が1,292回と昨年同時期比30%減を実現した。</p> <p>①教職員による登校、下校指導を年間12回実施し、挨拶、身だしなみ、交通マナー等を指導した。</p> <p>②進路変更する生徒数は、昨年同時期より50%減少した。今年度、生徒指導がらみの進路変更はない。</p> <p>②問題行動件数は昨年同時期と比較して15%減、指導人数は50%以上減少した。</p> <p>②生徒対象のいじめアンケートを1回実施した。生徒対象のいじめ・ネット、交通安全に関する講演会を実施した。</p> <p>②教職員対象の発達障害に対応するための講演会を実施した。</p>	A
3	<p>・本校では、進路未定者を出さない為様々な指導を行ってきた。その結果、6年間、就職率・進学率100%を達成している。しかし、進路意識の希薄に起因した、就職や進学共に内定に時間の掛かる生徒も一部出てきている。そのため、入学当初からの学年と協力した計画的な進路指導を行うことが課題である。</p>	<p>進路指導</p> <p>①就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>②2年連続で就職試験1回目の合格者率を80%以上を継続させる。</p>	<p>①企業との面談を強化する。(情報収集の強化)</p> <p>①進路指導部内での情報共有を強化する。</p> <p>①進路指導部と学年との連携を強化する。</p> <p>②インターンシップで企業連携を強化する。</p> <p>②求人の新規開拓を行う。</p> <p>②進路ガイダンス内容の再検討を行い、効果を高めるため内容の質を高める。</p> <p>②面接指導を効果的なタイミングで実施する。</p>	<p>①就職率・進学率100%を早期に実現できたか。</p> <p>①生徒アンケートで『進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている』と回答した生徒を80%以上にできたか。</p> <p>②求人件数を5%増加を実現して選択肢を増やせたか。</p> <p>②来校求人数を10%増やし、生徒のニーズに沿えたか。</p> <p>②生徒個々に5回以上の面接練習の機会を提供できたか。</p>	<p>①就職決定率100%達成(11/24付)</p> <p>①進学決定率98%達成(2/1現在)</p> <p>①求人件数1745件(2/1現在)昨年より3%増加、工業系求人13%増。来校求人数10%以上増加。</p> <p>②進路ガイダンス、面接指導を5回以上の計画通り実施した。就職試験第一回目(第一希望)の合格率は87.1%で昨年より2.4%上昇した。</p>	A
4	<p>・中学生や保護者及び地域住民に、「工業」をイメージするだけでなく、本校の教育活動、特に実習を中心としたカリキュラムや充実した進路指導のなどを幅広く知ってもらえるような活動が必要である。今年度は、生徒募集のために、学校説明会や体験入学をより充実させるとともに、中学校への出前授業やHPの適切な更新と情報発信を行う。また、地域の小・中学校との連携の強化を図るとともに各種イベントに積極的に参加し、地域にねざした高校として貢献することが必要である。</p>	<p>開かれた工業高校づくり</p> <p>①学校内外への積極的な情報発信を行い、学校理解を進め、志願者数を確保する。</p> <p>②地域に根付いた工業高校として、様々なイベントに参加し、地域に貢献する。</p>	<p>①学校のHPやチラシ等を活用し、学校の教育情報を発信する。</p> <p>①学校PR資料「久喜工高だより」を毎学期作成し、該当中学校3年生に向けて配布する。</p> <p>①積極的に中学校への出前授業を実施する。</p> <p>①メールの保護者登録を推奨し、緊急連絡をはじめ、テストや行事前の情報発信を行う。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等で年間15回以上対外的な活動を行う。</p>	<p>①学校HPのアクセス回数を前年度比10%以上増加させる。</p> <p>①学校PR資料を毎学期作成し、該当中学校3年生に向けて配付する。</p> <p>①全学科参加で中学校への出前授業を実施する。また、進路行事にも積極的に参加して、入学志願者倍率を1.1倍を超える。</p> <p>①メールの保護者配信登録は90%以上をめざし、テストや行事前の情報発信を行う。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等で年間15回以上対外的な活動を行ったか。</p> <p>②生徒アンケートで『久喜工高は、地域からいい学校だと評価されている』と回答した生徒を70%以上にできたか。</p>	<p>①学校HPアクセス回数前年度比8%減少。</p> <p>①学校PR資料(久喜工業だより)を4月、7月、10月、1月の計4回発行。</p> <p>①全学科参加で中学校への出前授業を計画的に実施した。</p> <p>①学校説明会では各回ごとにテーマを設けて計画的に実施した。</p> <p>①メールの保護者配信登録数は674件で各家庭登録割合は90%以上を達成した。</p> <p>①メールの配信回数は24回で行事や台風雪による各連絡などの情報発信を混乱なく行った。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等の対外的な活動を15回以上実施し、地域の高校として貢献した。</p>	B

学校関係者評価	実施日 平成30年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・各資格の合格者数が10%以上増加したのは素晴らしい。段々増加は難しくなると思うが、より高めてもらいたい。</p> <p>・学科の垣根を越えて資格にチャレンジするのは素晴らしい取り組みである。今後も奨励して貰いたい。</p> <p>・成績不振者が減少した背景にある、教員間の情報共有と適切な指導も効果的である。今後も継続して頂きたい。</p> <p>・遅刻カード導入により遅刻者数は減少傾向にある。今後は生徒の慣れによる増加への対策を講じて、更に減少させて頂きたい。</p> <p>・中学校も進路決定後の3年生の遅刻数増加は深刻な問題である。生徒の遅刻に対する認識を変える指導が必要である。</p> <p>・遅刻は学校だけの取組では限界がある。家庭と協力して減少に努めることが大切である。</p> <p>・生徒個々の適性に合わせて進路指導ができています。今後もミスマッチを予防する取り組みを継続して頂きたい。</p> <p>・企業はインターンシップ受け入れを通じて、求める生徒像を発信している。地元企業の要望に応えた内容のインターンシップを推進して貰いたい。</p> <p>・先生方の日々の熱心な指導には生徒、保護者も大いに期待している。信頼にこたえ続けて頂きたい。</p> <p>・文化祭などの学校行事が他校より盛り上がり欠ける。学校が元気になるような企画内容になるよう努力して貰いたい。</p>